

第21回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成21年2月

応募者名：秋田県 建設交通部都市計画課

事業の名称：地域高規格道路

秋田中央道路都市計画街路事業

実施都市名：秋田県 秋田市

事業目的

秋田中央道路は国道7号と秋田自動車道・秋田中央ICを結ぶ延長約8kmの高規格道路である。これまでJR秋田駅の東西を結ぶ既存道路は2本しかなかったため、JRや旭川横断部分の幹線道路が通勤・通学時間帯や降雪時には慢性的に渋滞していた。そこで、①秋田市中心部と秋田自動車道や秋田空港とのアクセス向上、②秋田駅東西間の渋滞解消及び、③秋田市中心市街地の活性化支援を主目的に本路線を整備している。

事業概要

事業名：地域高規格道路

秋田中央道路都市計画街路事業

路線名：秋田中央道路

事業箇所：秋田市旭北錦町～秋田市手形西谷地

事業延長：2.55km

幅員：9.0m(2車線)

総事業費：663億円

事業期間：平成12年～平成19年

本事業区間は、JR秋田駅を地下で通過するトンネル構造の自動車専用道路である。区間の大半はシールド工法を採用した。複雑な地質での低土被り、大断面の困難な条件下で二次覆工省略型(国内初供用)のワンパスセグメントを採用する等で工期短縮を図り、目標であった秋田国体前の開通を実現した。また、設計・施工一括発注方式や契約後VE提案方式等により大幅なコスト縮減を図った。

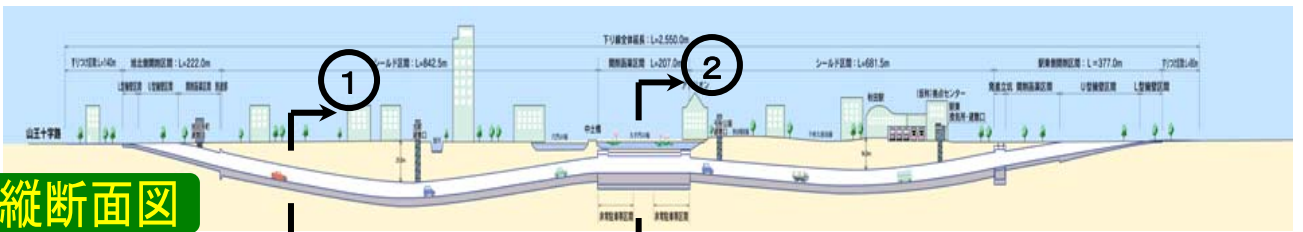
事業位置図



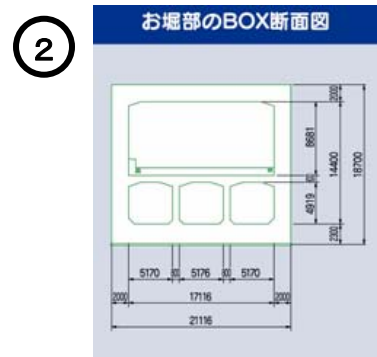
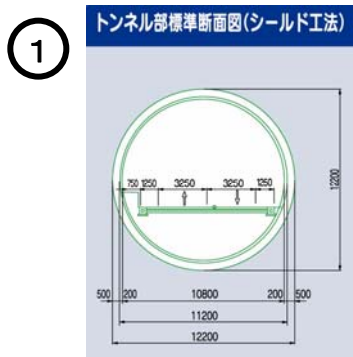
全体図(平面図・側面図・横断面図)



平面図

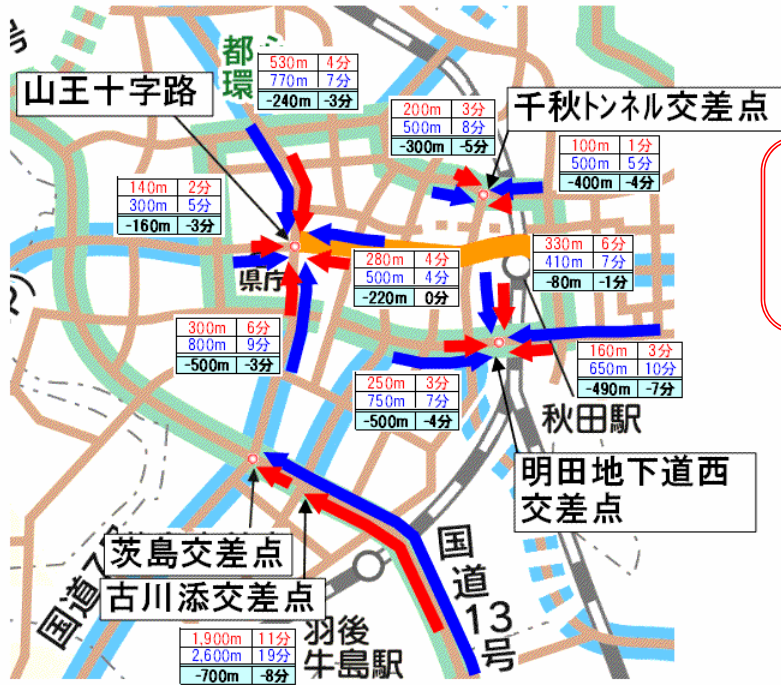


縦断面図

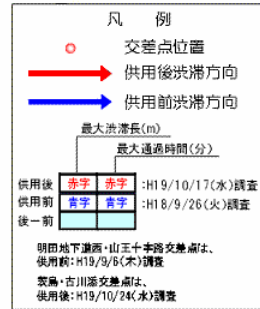


横断面図

秋田中央道路の整備効果アピール資料



供用前後の 渋滞長と通過時間



○事業概要

事業名：地域高規格道路
秋田中央道路都市計画街路事業
路線名：秋田中央道路
事業箇所：秋田市旭北錦町～手形西谷地
事業延長：2.55km
幅員：9.0m
総事業費：663億円
事業期間：平成12年～平成19年

○交通量調査結果

供用前 平成19年 9月 6日実測
供用後 平成19年10月17日実測
・交通量の推移(JR横断の既存路線)
手形陸橋 24,100台→18,100台 ▲25%減
明田地下道26,300台→20,900台 ▲20%減
◎秋田駅北側の鉄道踏切断面で朝10%
夕方20%の交通量減少→細街路の通過
交通が減少!!

「整備効果」

○秋田市中心部と秋田自動車道のアクセス機能向上

→秋田中央IC～県庁の所要時間 朝ピーク→7分、夕ピーク12分の短縮
冬期朝ピークには中央道路利用で36分短縮

○秋田駅東西間の交通渋滞緩和

→JR横断の既存道路(明田地下道+手形陸橋)の交通量が約11,400台/日(23%)減少
→千秋トンネル交差点 渋滞長：400m、通過時間：4分 減少
→明田地下道交差点 渋滞長：500m、通過時間：7分 減少

「その他の事業効果」

- 医療施設へのアクセス向上
- 消火活動、救急運送時の
利便性向上
- 交通事故の減少
- 物流関係の利便性向上



事業前写真

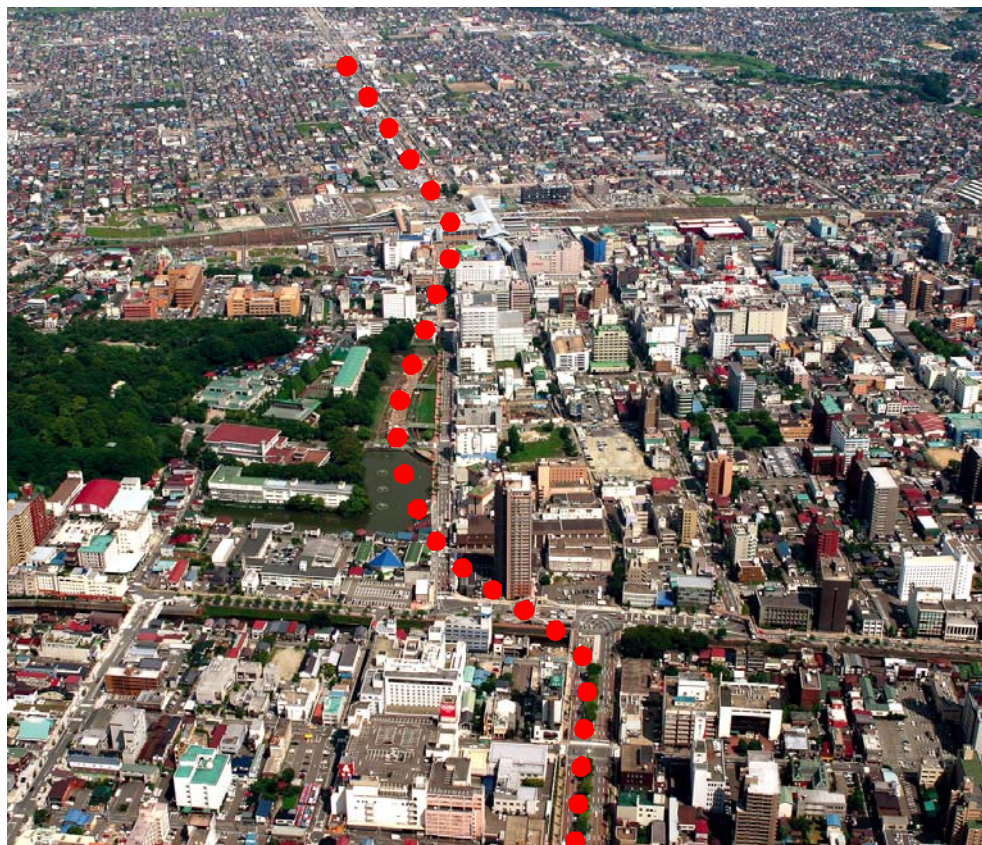
■ 中央道路(旭北出口)

平成16年3月撮影



■ 完成前航空写真

平成15年6月撮影



事業後写真

■中央道路(旭北出口)

平成19年10月撮影



■トンネル内

平成19年9月撮影



■避難口(千秋公園)



■駅東換気所

